“負けてたまるか大作戦・・・”

今年の箱根駅伝、テレビで観た人も多いかと思います。優勝候補は、出雲駅伝、全日本駅伝を完全勝利（スタートからゴールまでトップを譲らず）し、昨年度の箱根駅伝も優勝した駒澤大学でした。駒澤大学の1区は富里高校の卒業生で、エースらしく見事区間賞の走りを見せてくれました。そして、3区には大学ナンバー1の選手が控えていたので、2区に襷（たすき）が渡ったときには、誰もが駒澤大学の独走を予想していたと思います。しかし、青山学院大学の2区の選手が区間賞の走りをし、3区の選手（箱根が得意）が、なんと駒澤大学の大学ナンバー1の選手を抜き、区間賞の走りでトップに出たのです。その後は、いいリズムに乗った青山学院大学の独壇場。終わってみれば、往路新記録、総合新記録という素晴らしいタイムで見事に優勝しました。

今年の駒澤大学のあまりにも強さに、青山学院大学の原監督が立てた作戦が“負けてたまるか大作戦”でした。“負けるな大作戦”は受け身な言葉と感じた原監督は、“負けてたまるか大作戦”は『攻めながら勝つ』という積極的な意味だと思い、この言葉を決めたそうです。この言葉には、箱根駅伝はもちろん、世の中の人々が皆この気持ちを持って頑張ってもらいたいという願いもあったそうです。そして、“負けてたまるか・・・”とあって頑張れた人は、たとえば、自分の思ったような結果が得られなくても負けたことにならない、自分に勝ったのだから。というメッセージも含んでいるのだそうです。部活動でも“勝ちたい”とあって試合に臨むより“負けない”とあって試合に臨んだ方が、いい結果になると言われているのもわかる気がします。2024年がスタートしました。皆さんは、今年も大小たくさんの勝負をしなくてはいけないときがあると思います。その時は是非“負けてたまるか”という気持ちを持って頑張ってもらいたいと思います。“自分に負けない”で欲しいと思います。ちなみに自分が今年応援していた大学は、東海大学、日本大学、順天堂大学でした。

【2024年、スタートからいろいろありました】

1月1日、石川県を中心とした能登地方で震度7の大地震が発生しました。その後も震度5クラスの余震が何度も続き、津波や火災まで発生し、本当に心が痛みました。現在も救助活動が続いていますが、亡くなられた方の人数も日に日に増えています。

災害は忘れたころに・・・と言いますが、本当に怖いです。ご家庭でも、もし地震が起こったら、ということをお話しておくことも必要なことではないかと思っています。

この地震で亡くなられた方のご冥福をお祈りします。また、被災された方が1日でも早く日常を取り戻せることを心から願っています。